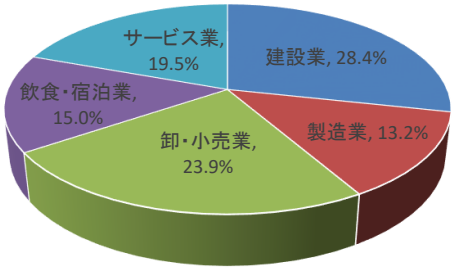
十日町市地域 企業景況調査 第2四半期報告書（R2.7.1～R2.9.30）松之山地区

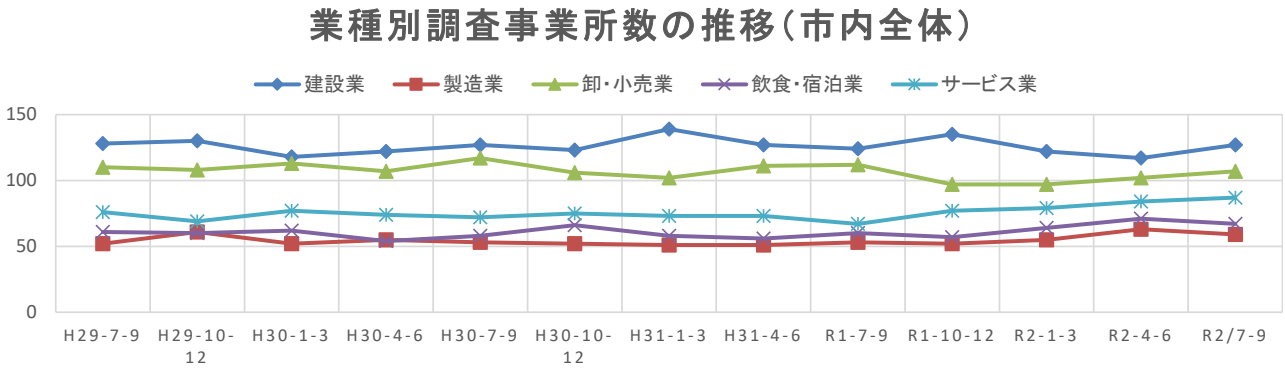
小規模事業者以外含む全事業所

◇ 調査対象事業所構成割合

＜十日町市内全体＞

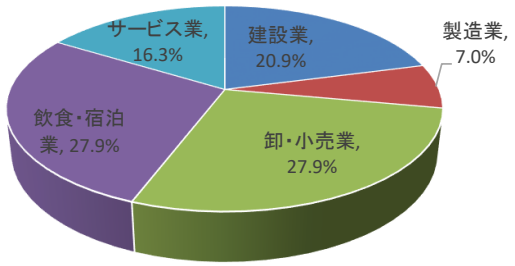


	事業者数	構成比
建設業	127	28.4%
製造業	59	13.2%
卸・小売業	107	23.9%
飲食・宿泊業	67	15.0%
サービス業	87	19.5%
全業種合計	447	100.0%

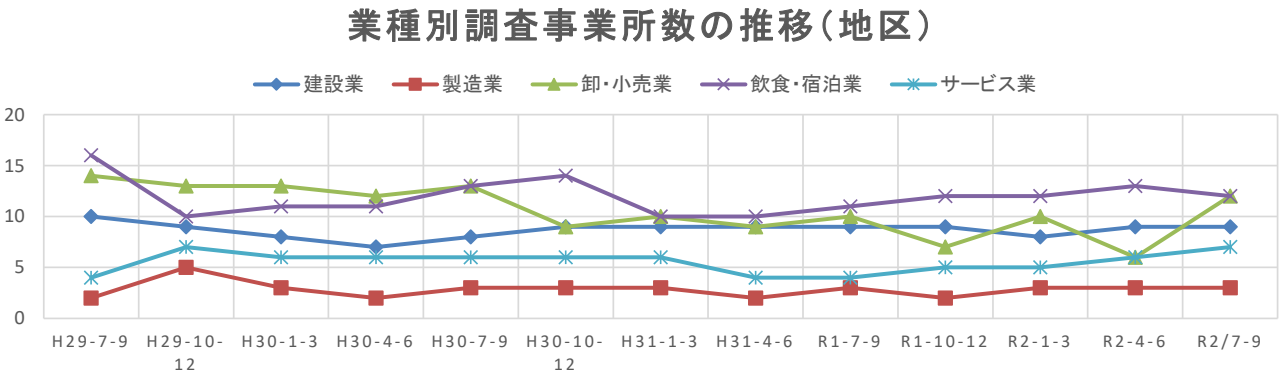


＜コメント＞　今年度より、十日町商工会議所と十日町市内5商工会地区のデータを統合しており、多くのサンプル数を集計することでより正確な調査結果が得られるものとなっている。回答事業所数も前回調査時よりも１０事業所増えており、今後もできるだけ増やしてゆきたい。また、業種別構成割合もバラツキが少なくなってきている。

＜地区別：松之山地区＞



	事業者数	構成比
建設業	9	20.9%
製造業	3	7.0%
卸・小売業	12	27.9%
飲食・宿泊業	12	27.9%
サービス業	7	16.3%
全業種合計	43	100.0%



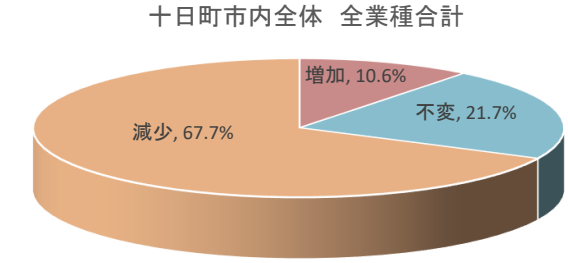
＜コメント＞　松之山地区の今回の調査回答状況は、配布６４事業所の内４３事業所からの回答があり、回収率は67.2%であった。前回減少していた卸・小売業からの回答も今回は増え、一昨年並みの回収ができた。地域内の製造業が少ないことから製造業の回答を増やすことはできないが、その他の業種バランスは大きな差が無いものとなっている。

ＤＩ値（景況判断指数）＝（増加・好転などの回答割合）－(減少・悪化などの回答割合)

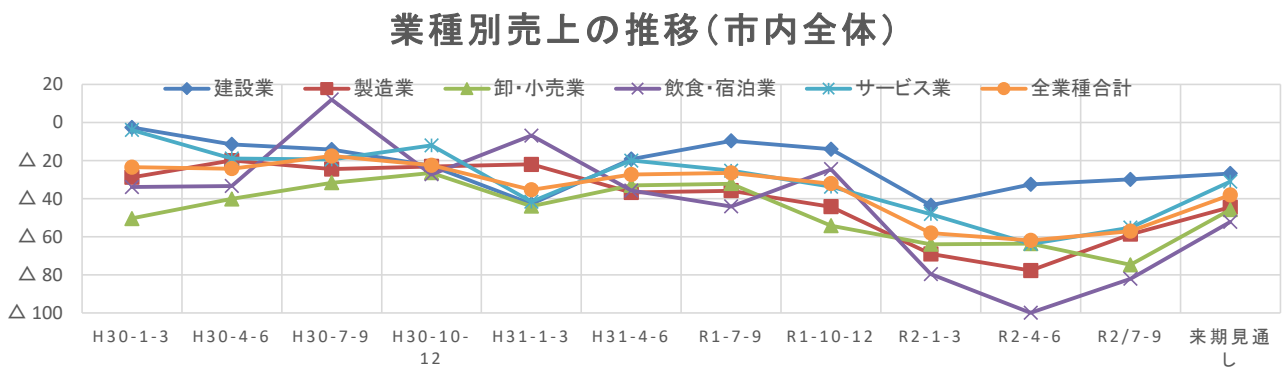
１．売上について

・７月～９月の売上は前年の同期に比べてどうですか？

＜十日町市内全体＞

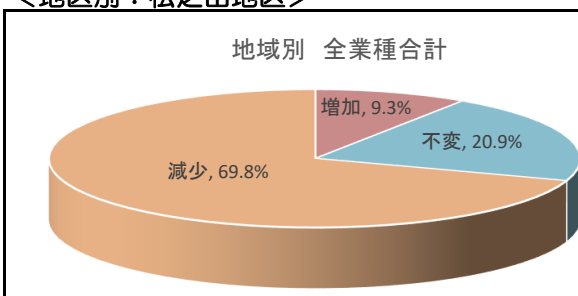


	増加 %	不変 %	減少 %	ＤＩ	見通しＤＩ
建設業	19.7%	30.7%	49.6%	△ 29.9	△ 26.8
製造業	13.0%	15.2%	71.7%	△ 58.7	△ 44.4
卸・小売業	3.7%	17.8%	78.5%	△ 74.8	△ 45.8
飲食・宿泊業	6.0%	6.0%	88.1%	△ 82.1	△ 52.2
サービス業	8.0%	28.7%	63.2%	△ 55.2	△ 31.0
全業種合計	10.6%	21.7%	67.7%	△ 57.1	△ 38.1

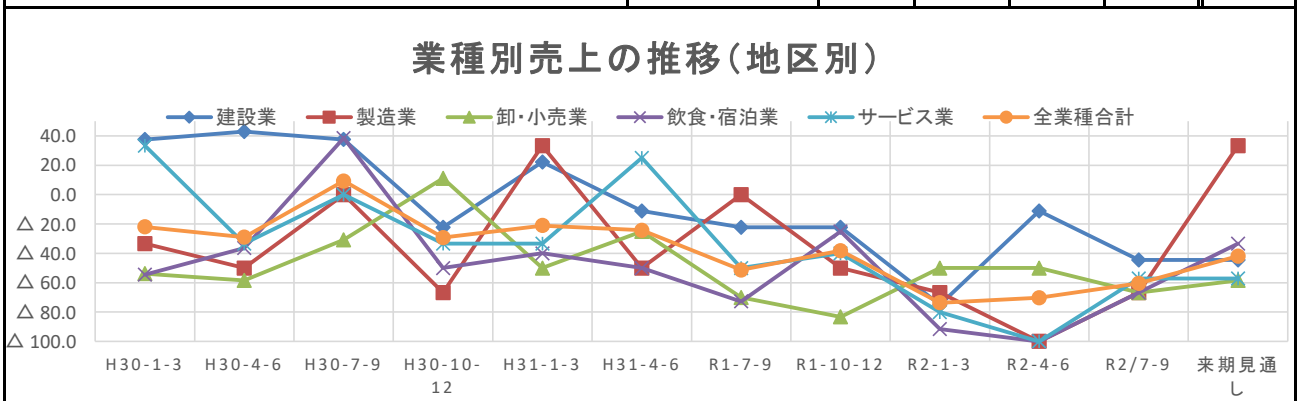


＜コメント＞　十日町市内全体の今期の売上状況は、全業種DI値で△57.1ポイントで、前回調査時よりも4.8ポイント増加となっている。前期調査時は新型コロナウイルス感染症の影響で大きく落ち込んでいたが、卸・小売業以外の業種で増加が示されており、更に来期見通しでは全ての業種で増加予測されている。今後もプレミアム商品券事業も予定されており、予測通りの結果が出ることを期待したい。

＜地区別：松之山地区＞



	増加 %	不変 %	減少 %	ＤＩ	見通しＤＩ
建設業	22.2%	11.1%	66.7%	△ 44.4	△ 44.4
製造業	0.0%	33.3%	66.7%	△ 66.7	33.3
卸・小売業	0.0%	33.3%	66.7%	△ 66.7	△ 58.3
飲食・宿泊業	8.3%	16.7%	75.0%	△ 66.7	△ 33.3
サービス業	14.3%	14.3%	71.4%	△ 57.1	△ 57.1
全業種合計	9.3%	20.9%	69.8%	△ 60.5	△ 41.9

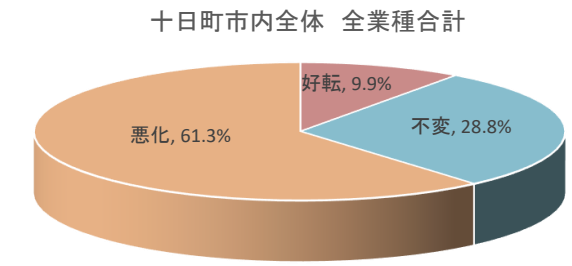


＜コメント＞　松之山地区の今期の売上状況は、全業種DI値で△60.5ポイントで、前回調査時よりも9.8ポイント増加している。前回調査時は新型コロナウイルスの影響を受けていたこともあり、影響を受けていた製造業、飲食・宿泊業、サービス業での増加があったものの、建設業、卸・小売業にて減少が見られた結果となっている。来期見通しでは、今期よりも増加予測されている事業所が多くあり、今後の動向を注視したい。

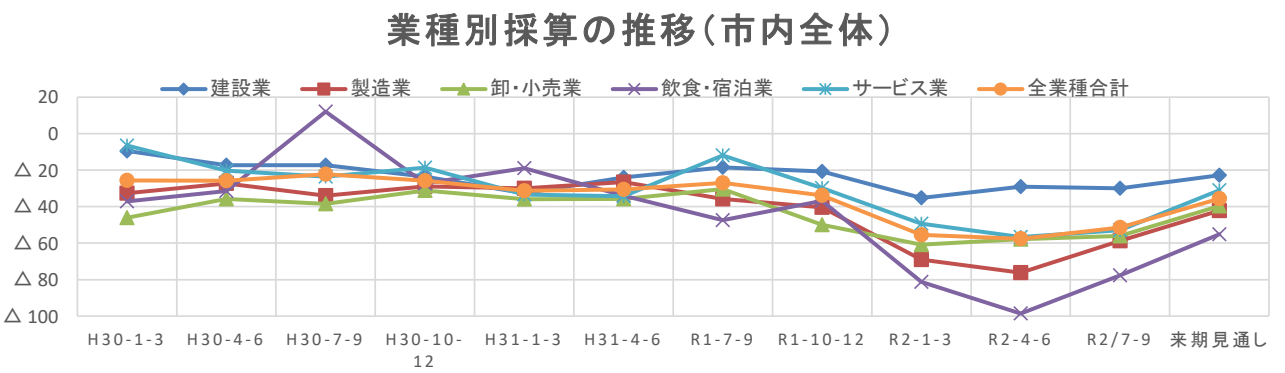
2．採算について

・７月～９月の採算は前年の同期に比べてどうですか？

＜十日町市内全体＞

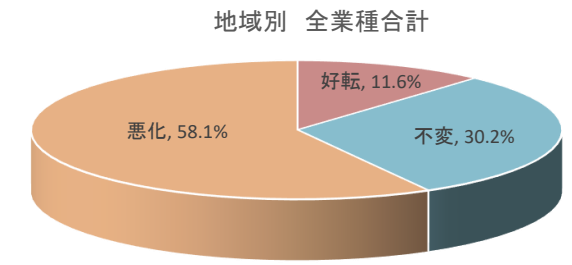


	好転 %	不変 %	悪化 %	ＤＩ	見通しＤＩ
建設業	15.7%	38.6%	45.7%	△ 29.9	△ 22.8
製造業	8.7%	23.9%	67.4%	△ 58.7	△ 42.2
卸・小売業	8.4%	27.1%	64.5%	△ 56.1	△ 39.6
飲食・宿泊業	7.5%	7.5%	85.1%	△ 77.6	△ 55.2
サービス業	5.7%	35.6%	58.6%	△ 52.9	△ 31.0
全業種合計	9.9%	28.8%	61.3%	△ 51.4	△ 35.6

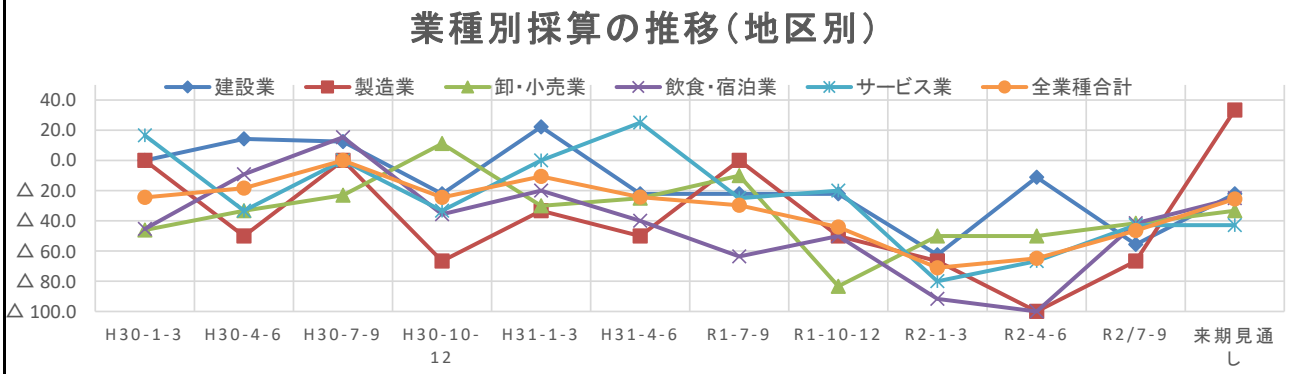


＜コメント＞　十日町市内全体の今期の採算状況は、全業種DI値で△51.4ポイントで、前回調査時よりも6.2ポイント好転している。採算状況は売上状況に比例する傾向にあることから、推移波形も売上状況に類似している。売上状況では唯一卸・小売業にて前期比減少であったが、採算業況では卸・小売業も前期より1.7ポイント好転している。売上状況同様、来期見通しの予測どおりとなるよう期待したい。

＜地区別：松之山地区＞



	好転 %	不変 %	悪化 %	ＤＩ	見通しＤＩ
建設業	0.0%	44.4%	55.6%	△ 55.6	△ 22.2
製造業	0.0%	33.3%	66.7%	△ 66.7	33.3
卸・小売業	8.3%	41.7%	50.0%	△ 41.7	△ 33.3
飲食・宿泊業	25.0%	8.3%	66.7%	△ 41.7	△ 25.0
サービス業	14.3%	28.6%	57.1%	△ 42.9	△ 42.9
全業種合計	11.6%	30.2%	58.1%	△ 46.5	△ 25.6

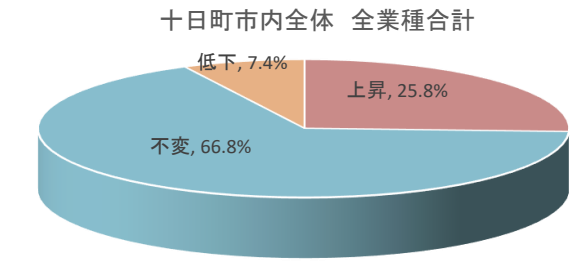


＜コメント＞　松之山地区の今期の採算状況は、全業種DI値で△46.5ポイントで、前回調査時よりも18.4ポイント好転している。建設業にて大きな悪化が見られるが、その他の業種は好転しており全業種のDI値を引き上げている。今後の見通しでは、サービス業で今期と変動なしとなっているが、その他の業種で好転予測されており、実際の結果に注視したい。

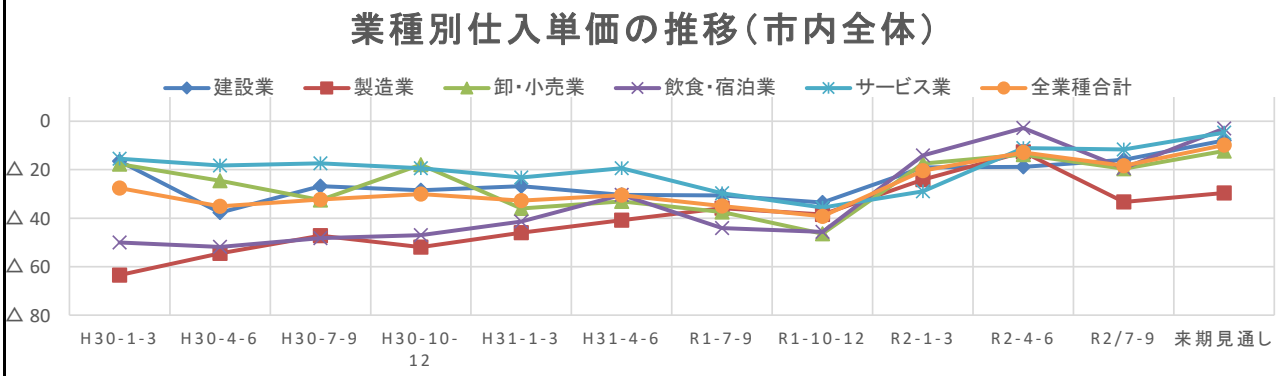
３．仕入単価について

・７月～９月の仕入単価は前年の同期に比べてどうですか？

＜十日町市内全体＞

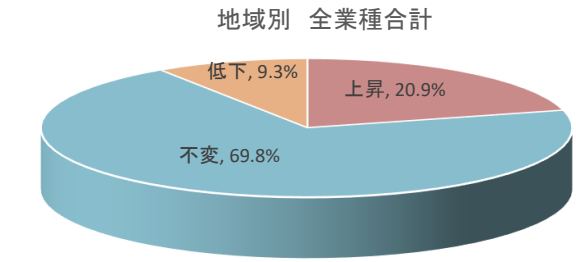


	上昇 %	不変 %	低下 %	ＤＩ	見通しＤＩ
建設業	22.2%	71.4%	6.3%	△ 15.9	△ 7.9
製造業	40.0%	53.3%	6.7%	△ 33.3	△ 29.5
卸・小売業	28.0%	63.6%	8.4%	△ 19.6	△ 12.3
飲食・宿泊業	31.3%	56.7%	11.9%	△ 19.4	△ 3.0
サービス業	16.3%	79.1%	4.7%	△ 11.6	△ 4.7
全業種合計	25.8%	66.8%	7.4%	△ 18.3	△ 9.8

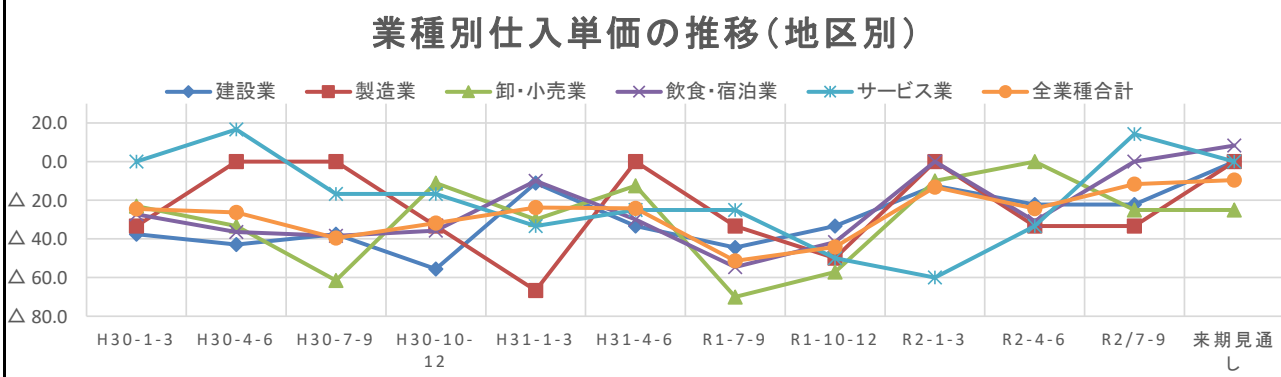


＜コメント＞　十日町市内全体の今期の仕入単価状況は、全業種DI値で△18.3ポイントで、前回調査時よりも5.4ポイント上昇している。製造業と飲食・宿泊業にて単価上昇が見られ、前回調査時の来期予測に反していたことがわかる。ただし、来期予測では全ての業種で今期よりも低下することが予測されており、予測どおりの結果となるよう期待したい。

＜地区別：松之山地区＞



	上昇 %	不変 %	低下 %	ＤＩ	見通しＤＩ
建設業	22.2%	77.8%	0.0%	△ 22.2	0.0
製造業	33.3%	66.7%	0.0%	△ 33.3	0.0
卸・小売業	33.3%	58.3%	8.3%	△ 25.0	△ 25.0
飲食・宿泊業	16.7%	66.7%	16.7%	0.0	8.3
サービス業	0.0%	85.7%	14.3%	14.3	0.0
全業種合計	20.9%	69.8%	9.3%	△ 11.6	△ 9.5

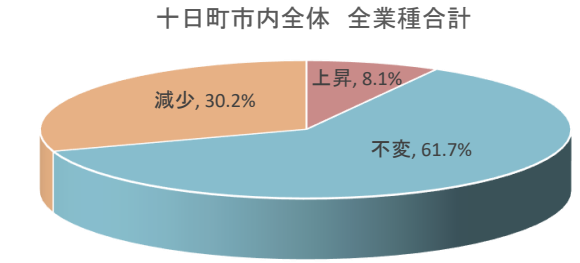


＜コメント＞　松之山地区の今期の仕入単価の状況は、全業種DI値で△11.6ポイントで、前回調査時よりも12.7ポイント低下している。飲食・宿泊業とサービス業にて減少が見られ、卸・小売業で上昇している。来期見通しでは、サービス業で上昇予測があるものの、その他の業種は横這い若しくは低下予測されており、全業種では若干の低下予測となっている。

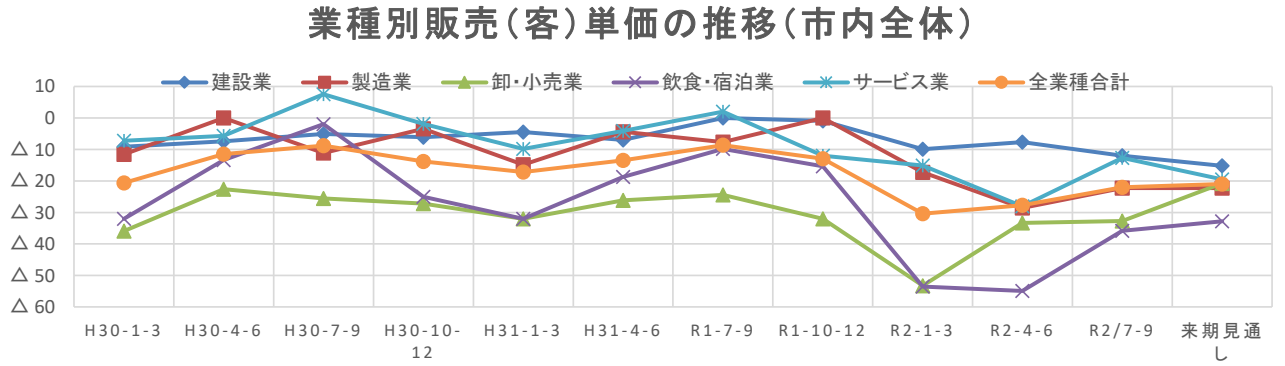
4．販売（客）単価について

・7月～9月の販売（客）単価は前年の同期に比べてどうですか？

＜十日町市内全体＞

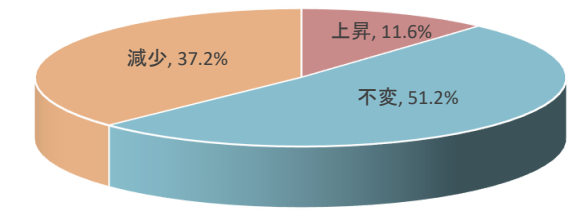


	上昇 %	不変 %	減少 %	ＤＩ	見通しＤＩ
建設業	4.8%	78.4%	16.8%	△ 12.0	△ 15.2
製造業	2.2%	73.3%	24.4%	△ 22.2	△ 22.2
卸・小売業	10.3%	46.7%	43.0%	△ 32.7	△ 20.8
飲食・宿泊業	11.9%	40.3%	47.8%	△ 35.8	△ 32.8
サービス業	10.3%	66.7%	23.0%	△ 12.6	△ 19.5
全業種合計	8.1%	61.7%	30.2%	△ 22.0	△ 20.9

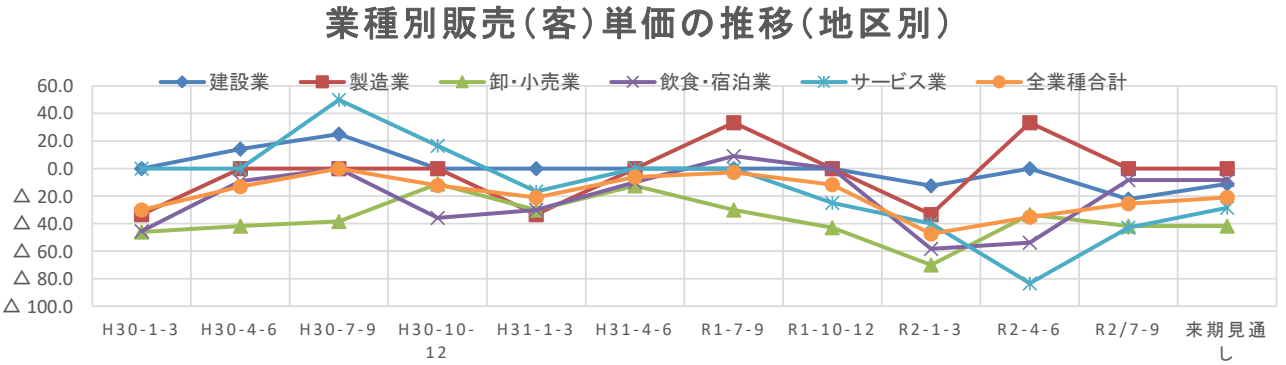


＜コメント＞　十日町市内全体の今期の販売（客）単価状況は、全業種DI値で△22.0ポイントで、前回調査時よりも5.7ポイント上昇している。飲食・宿泊業とサービス業にて上昇が見られ、前期のコロナ感染症の影響から少しは脱していることと推測する。来期見通しにおいては、卸・小売業と飲食・宿泊業にて上昇予測があるものの、建設業とサービス業で減少予測があり全業種では今期同様と思われる。

＜地区別：松之山地区＞



	上昇 %	不変 %	減少 %	ＤＩ	見通しＤＩ
建設業	0.0%	77.8%	22.2%	△ 22.2	△ 11.1
製造業	33.3%	33.3%	33.3%	0.0	0.0
卸・小売業	8.3%	41.7%	50.0%	△ 41.7	△ 41.7
飲食・宿泊業	25.0%	41.7%	33.3%	△ 8.3	△ 8.3
サービス業	0.0%	57.1%	42.9%	△ 42.9	△ 28.6
全業種合計	11.6%	51.2%	37.2%	△ 25.6	△ 20.9

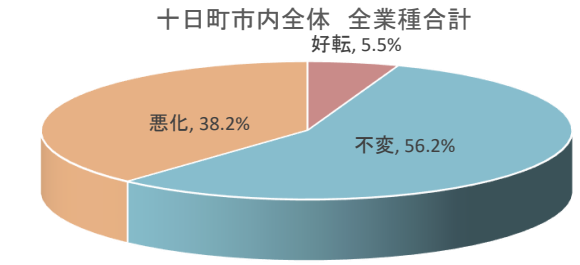


＜コメント＞　松之山地区の今期の販売（客）単価の状況は、全業種DI値で△25.6ポイントで、前回調査時よりも9.5ポイント上昇している。建設業、製造業、卸・小売業で低下しているが、飲食・宿泊業とサービス業で大きく上昇しており、全体の数値を引き上げている。これは国の新型コロナ対策に関係した支援策の効果があったものと推測する。

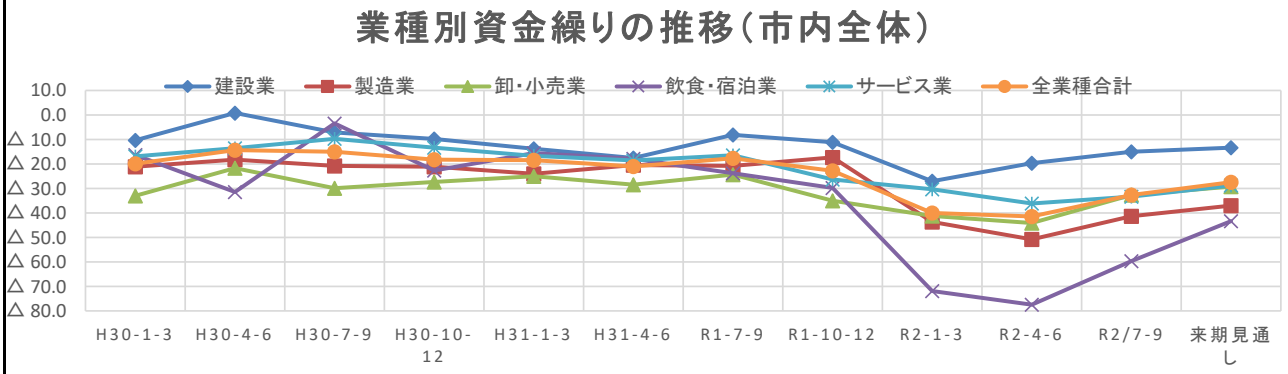
5．資金繰りについて

・7月～9月の資金繰りは前年の同期に比べてどうですか？

＜十日町市内全体＞

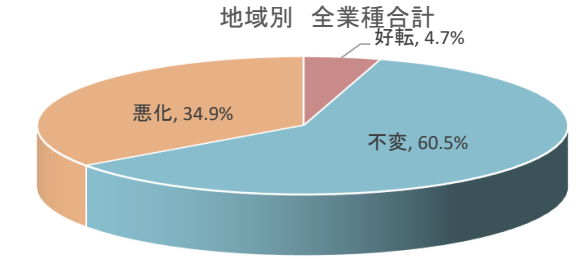


	好転 %	不変 %	悪化 %	ＤＩ	見通しＤＩ
建設業	11.0%	63.0%	26.0%	△ 15.0	△ 13.4
製造業	0.0%	58.7%	41.3%	△ 41.3	△ 37.0
卸・小売業	5.6%	56.1%	38.3%	△ 32.7	△ 29.2
飲食・宿泊業	4.5%	31.3%	64.2%	△ 59.7	△ 43.3
サービス業	1.1%	64.4%	34.5%	△ 33.3	△ 28.7
全業種合計	5.5%	56.2%	38.2%	△ 32.7	△ 27.5

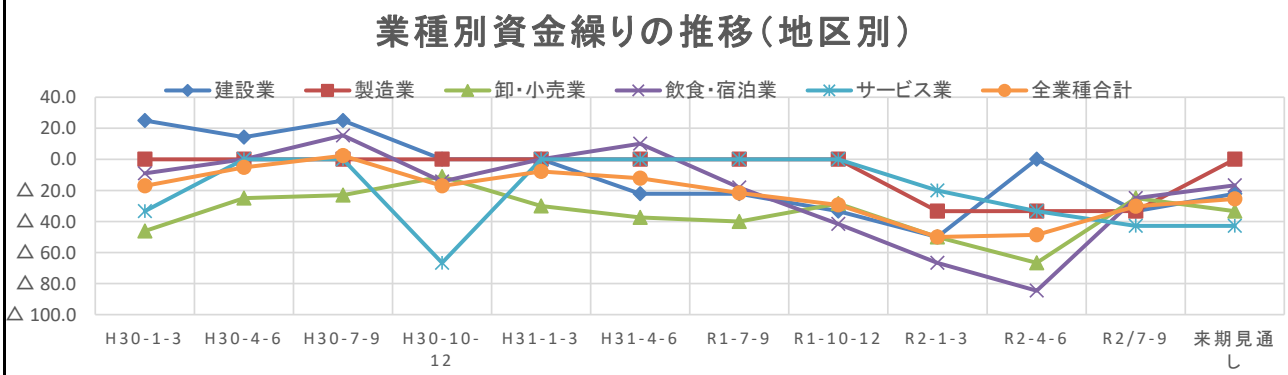


＜コメント＞　十日町市内全体の今期の資金繰り状況は、全業種DI値で△32.7ポイントで、前回調査時よりも8.7ポイント好転している。推移グラフの波形で分かるとおり、全ての業種にて前回調査時よりも好転しており、さらに来期見通しも今期よりも好転するものと予測されている。前期、前々期の悪化状況から改善傾向にあるものの、年末資金がショートしないよう事業所ごとの内容を把握したい。

＜地区別：松之山地区＞



	好転 %	不変 %	悪化 %	ＤＩ	見通しＤＩ
建設業	0.0%	66.7%	33.3%	△ 33.3	△ 22.2
製造業	0.0%	66.7%	33.3%	△ 33.3	0.0
卸・小売業	0.0%	75.0%	25.0%	△ 25.0	△ 33.3
飲食・宿泊業	16.7%	41.7%	41.7%	△ 25.0	△ 16.7
サービス業	0.0%	57.1%	42.9%	△ 42.9	△ 42.9
全業種合計	4.7%	60.5%	34.9%	△ 30.2	△ 25.6

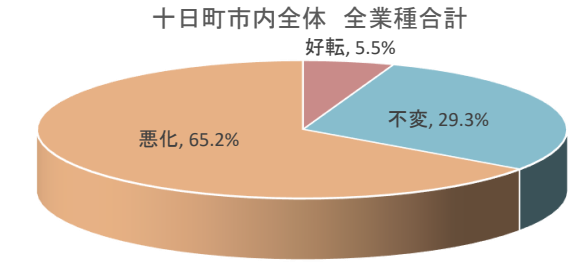


＜コメント＞　松之山地区の今期の資金繰り状況は、全業種DI値で△30.2ポイントで、前回調査時よりも18.4ポイント好転している。建設業にて大きな悪化が見られるが、これは前期で大きく好転していた反動であると思われる。前期で大きな悪化を示していた卸・小売業と飲食・宿泊業も今期は大きく好転しており、来期見通しの予測も今期と同程度から若干の好転よそくがあり実際の数値に注視したい。

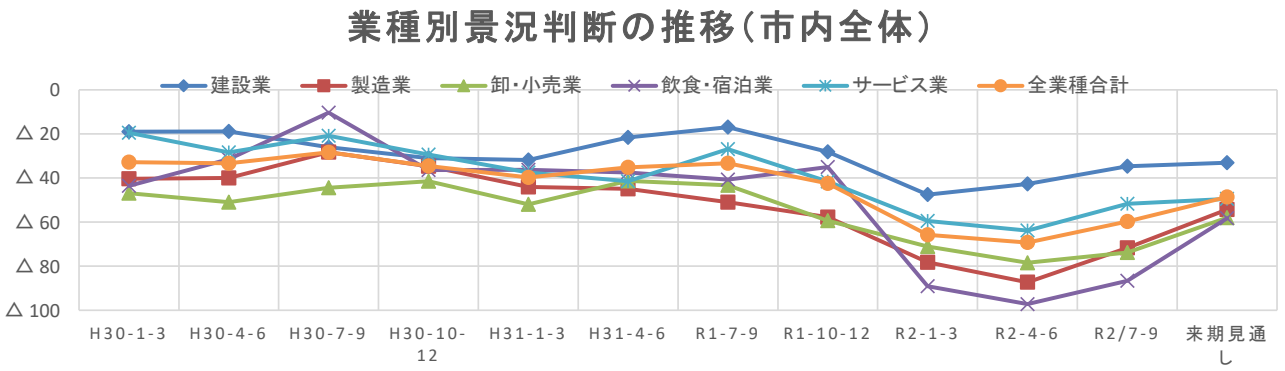
６．景況判断について

・７月～９月の景況は前年の同期に比べてどうですか？

＜十日町市内全体＞

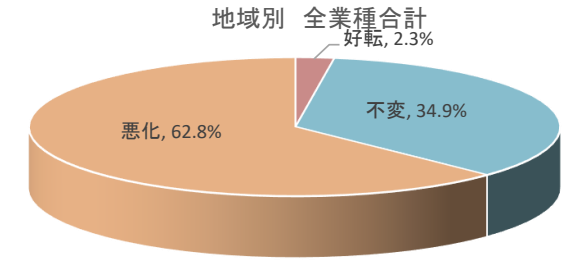


	好転 %	不変 %	悪化 %	ＤＩ	見通しＤＩ
建設業	11.0%	43.3%	45.7%	△ 34.6	△ 33.1
製造業	6.5%	15.2%	78.3%	△ 71.7	△ 54.3
卸・小売業	0.9%	24.3%	74.8%	△ 73.8	△ 57.9
飲食・宿泊業	3.0%	7.5%	89.6%	△ 86.6	△ 58.2
サービス業	4.6%	39.1%	56.3%	△ 51.7	△ 49.4
全業種合計	5.5%	29.3%	65.2%	△ 59.7	△ 48.6

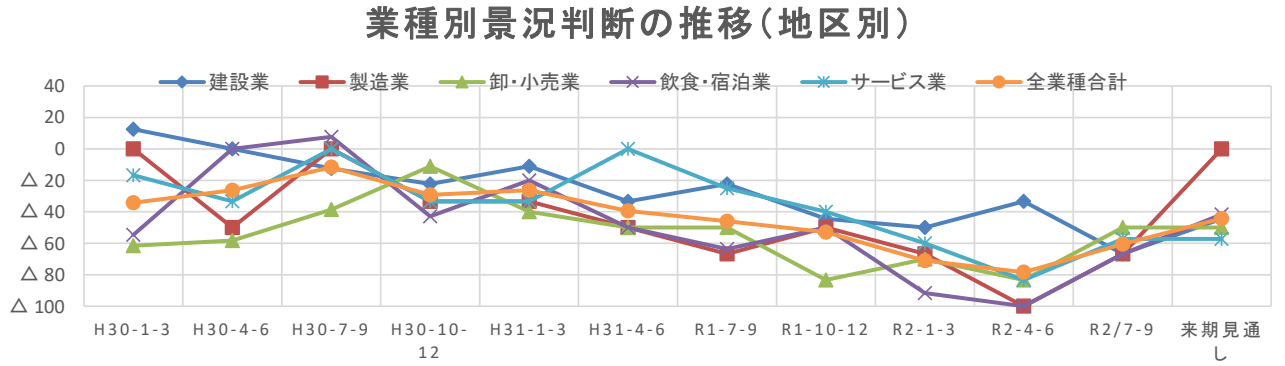


＜コメント＞　十日町市内全体の今期の景況判断は、全業種DI値で△59.7ポイントで、前回調査時よりも9.6ポイント好転となっている。推移グラフで分かるとおり、全業種で好転傾向にあるものの、３分の2の事業所で悪化回答されている。来期見通しでは、全業種にて今期よりも好転するものと予測されており、予測どおりの結果が出ることに期待したい。

＜地区別：松之山地区＞



	好転 %	不変 %	悪化 %	ＤＩ	見通しＤＩ
建設業	0.0%	33.3%	66.7%	△ 66.7	△ 44.4
製造業	0.0%	33.3%	66.7%	△ 66.7	0.0
卸・小売業	0.0%	50.0%	50.0%	△ 50.0	△ 50.0
飲食・宿泊業	8.3%	16.7%	75.0%	△ 66.7	△ 41.7
サービス業	0.0%	42.9%	57.1%	△ 57.1	△ 57.1
全業種合計	2.3%	34.9%	62.8%	△ 60.5	△ 44.2

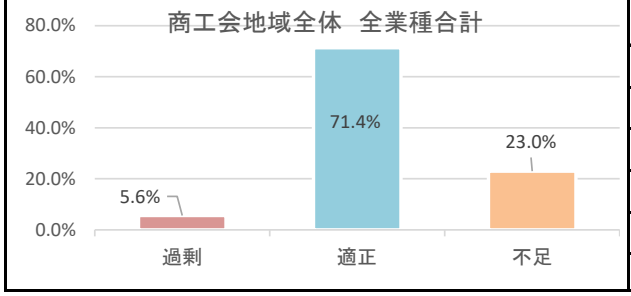


＜コメント＞　松之山地区の今期の景況判断は、全業種DI値で△60.5ポイントで、前回調査時よりも17.9ポイント好転している。前回調査で大きく悪化を示していた建設業以外の業種で好転が見られたが、建設業で悪化となっている。来期見通しでは今期と同程度若しくは好転すると予測されており、実際の数値に注視したいところである。

７．従業員数について

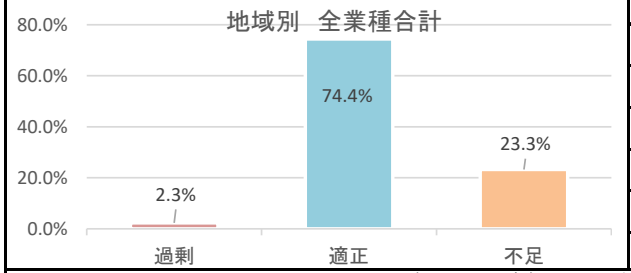
・７月～９月の従業員数は前年の同期に比べてどうですか？

＜十日町市内全体＞



	過剰 %	適正 %	不足 %	ＤＩ	見通しＤＩ
建設業	1.6%	56.3%	42.1%	△ 40.5	△ 41.3
製造業	15.6%	73.3%	11.1%	4.4	6.7
卸・小売業	7.9%	80.2%	11.9%	△ 4.0	△ 5.9
飲食・宿泊業	6.0%	79.1%	14.9%	△ 9.0	△ 14.9
サービス業	3.4%	75.9%	20.7%	△ 17.2	△ 19.5
全業種合計	5.6%	71.4%	23.0%	△ 17.4	△ 19.2

＜地区別：松之山地区＞

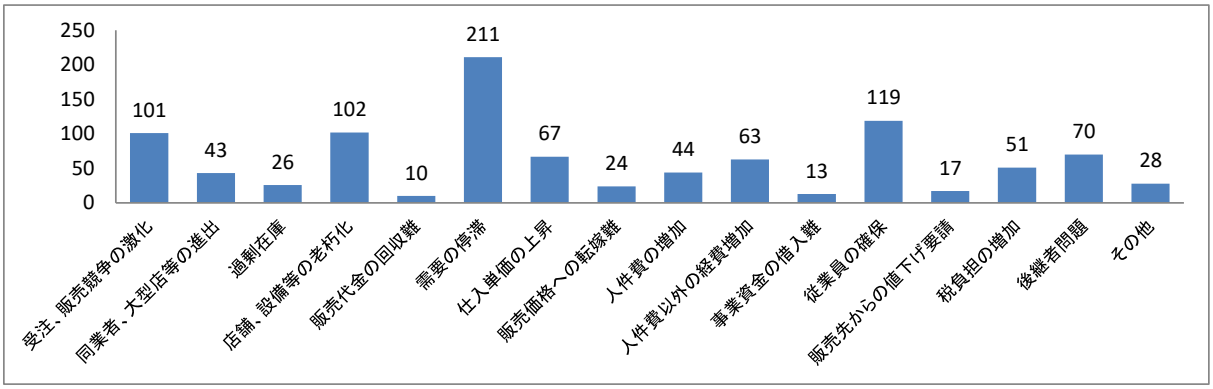


	過剰 %	適正 %	不足 %	ＤＩ	見通しＤＩ
建設業	0.0%	44.4%	55.6%	△ 55.6	△ 44.4
製造業	0.0%	100.0%	0.0%	0.0	△ 33.3
卸・小売業	8.3%	91.7%	0.0%	8.3	0.0
飲食・宿泊業	0.0%	83.3%	16.7%	△ 16.7	△ 16.7
サービス業	0.0%	57.1%	42.9%	△ 42.9	△ 28.6
全業種合計	2.3%	74.4%	23.3%	△ 20.9	△ 20.9

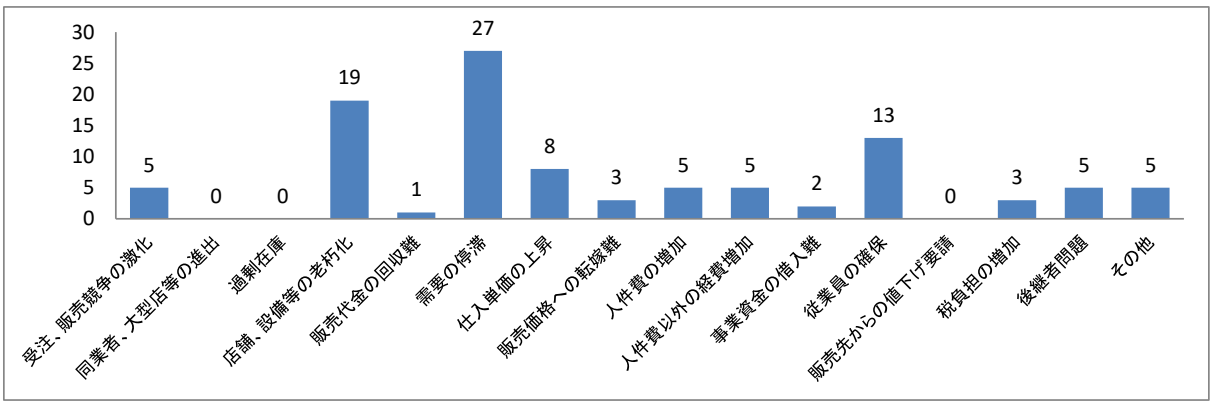
＜コメント＞　今期の従業員数（雇用動向）は、市内全体で5.6%の過剰と23.0%の不足となっている。前回調査時よりも過剰が2.6%減り、不足が2.8%増加している。松之山地区の状況は、前回調査時と大きな数値変動は無く、前回と同様で、建設業、飲食・宿泊業、サービス業にて従業員不足を感じている事業所が多い。

８．経営上の問題点（上位３つ）：７月～９月

十日町市内全体　全業種合計



地域別　全業種合計



＜コメント＞　今回調査での経営上の問題点は、１位が「需要の停滞」２位が「従業員の確保」３位が「店舗、設備の老朽化」であった。４位となっている「受注、販売競争の激化」も３位と１ポイント差であり、この４項目が問題視されている。
松之山地区の経営上の問題点は、前回調査時と同様で、「需要の停滞」「店舗、設備の老朽化」「従業員の確保」の順となっている。

９．地区の景況概要

・７月～９月時点での全体概況は

【建設業】

今期の建設業の状況は、市内全体での建設業状況と大きく乖離があり、松之山地区の建設業は全ての項目で悪化（減少）傾向となっている。これは前回調査で全ての項目で好転していた反動があったものと推測する。来期見通しにおいては今回調査よりも好転予測されている項目もあり、実際の数値に注視したい。経営上の問題点では、「従業員の確保」が多く回答されており、依然大きな課題となっている。

【製造業】

今期の製造業の状況は、前回調査時が新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、売上、採算において△１００ポイントだったこともあり、今回調査では前回調査時よりも好転結果が出ている。更に来期見通しでも今期よりも売上、採算も大きな好転（増加）予測があり、コロナの影響を脱するものと推測する。経営上の問題点では、「従業員の確保」が回答されており、製造業も人材不足傾向にある。

【卸・小売業】

今期の卸・小売業の状況は、売上状況で減少が見られるものの、採算、資金繰り、景況判断において前回調査時よりも改善傾向にあり、来期見通しにおいても今期と同等、若しくは若干の上向き傾向にあり、今後の動向に注視したい。市内全体のデータと比較してみても同じような推移波形が出ている。経営上の問題では、「需要の停滞」と「店舗、設備等の老朽化」が多く回答されている。

【飲食・宿泊業】

今期の飲食・宿泊業の状況は、製造業と同様で、前回調査時が新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けていた時期でっもあり、前回調査時よりも全ての項目で好転（増加）している。来期見通しにおいても今期よりも好転（増加）予測されており、実際の結果に期待したい。経営上の問題点では、「店舗、設備等の老朽化」と「需要の停滞」が多く回答されている。

【サービス業】

今期のサービス業の状況は、前期が製造業、飲食・宿泊業と同じく売上状況が△100ポイントだったDIも、△57.1ポイントと増加している。ただし、仕入単価において上昇があり、資金繰り状況で若干の悪化が見られる。来期見通しでは今期とあまり変わらないものと予測されている。経営上の問題点は、「需要の停滞」が一番多く、「店舗、設備等の老朽化」「従業員の確保」の順となっている。